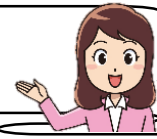




交流及び共同学習について



第1回のブロック学習会が開催され、高蔵小の久賀 弘太郎 先生に「交流及び共同学習について」の講演をしていただきました。

① 交流及び共同学習ガイド（文部科学省）について

交流及び共同学習ガイドを基にして、交流及び共同学習（以下：交流学習）の意義や在り方を考えました。交流学習を計画する上で支援学級と通常の学級の担任が**共通理解**を図ることが重要です。そのためには通常の学級と特別支援学級、**両者の成長**につながることを共通理解し、計画的・組織的・継続的に活動を進めていくことが必要です。



【久賀 弘太郎 先生】

② ユニバーサルデザイン2020 行動計画（内閣府）

「障害」は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されています。よって社会的障壁を取り除くのは社会の義務である、という「**障害の社会モデル**」を理解することが大切です。また、障害のある人自身やその家族も「障害の社会モデル」を理解し、社会的障壁を解消するための方法を相手に分かりやすく伝えることができることも重要です。ただ、交流をするだけではなく、交流の意義を通常の学級と特別支援学級の担任同士が共通理解したり、**特別支援教育の担当として発信**したりしていくことも大切です。

③ 情報交換会

この日、参加した先生を5名程のグループに分け、自己紹介のアイスブレイクの後、「交流学習の実践」についての情報交換をしました。初任者の先生、弱視学級担任、通級指導担当など様々な方の成功例、悩みを聞くことができました。

【何の時間に交流学習を行っているか？】

音楽 図画工作 算数(単元を選んで) 生活 家庭科
外国語活動 給食 清掃 学芸的行事 など



【4月、初めの交流学習の時に心掛けていることは？】

- ・ 休み時間から親学級に行き、一緒に遊んでから授業に参加する。
- ・ 通常の学級の児童と支援級担任との関係づくりをする。
- ・ 自己紹介を一緒にする。
- ・ 支援級の子の特性を伝える。 など

【自己紹介からスタート】

【いい情報が盛りだくさん】

【困っていることは？】

- ・ 予定していたのに、忘れられる。
- ・ 児童数が多いため、どう交流学習を行えば良いか分からない。
- ・ 児童がお客様状態になることがある。 など

今回は、応用行動分析に関わる考え方について学びを深め合います。事例検討会を通して、支援方法について語り、実践力を高めていきましょう！10月4日（木）18:30～ 高蔵小学校 です。皆さまのご参加をお待ちしております！キーワードは・・・「**仲間作り**」ということで（笑）